

## 第4回 西陣・千両ヶ辻文化検定試験

### ◇西陣・千両ヶ辻の概論について答えなさい。

- (1) 千両ヶ辻伝統文化祭は今年も、( ) に位置する薬師町・北之御門町・石薬師町の三町内で開催する。( ) に入れる最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。  
(ア) 今出川通 (イ) 元誓願寺通 (ウ) 大宮通今出川上ル (エ) 大宮通今出川下ル
- (2) 地域を表す千両ヶ辻及び西陣の呼び名について最も適当なものを(ア)～(ウ)から選びなさい。(ア) 現在は忘れられた呼び名になっている。  
(イ) 現在上記の地域名は一般に使われているが、固有名詞は別として公式な住所標記には使われていない。(ウ) 現在も公式な住所標記に使われている。

### ◇歴史及び謂われ等、千両ヶ辻について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

- (3) 西陣織の中心地として江戸時代から栄えて来た千両ヶ辻の地名の由来は何か。  
(ア) この地で一日千両に値する生糸・織物を商ったことから。  
(イ) この地は両替商(金融業)中心の町であったから。  
(ウ) 江戸時代この地を掘ると千両箱が出て来たから。
- (4) この地はいつの時代から一般に千両ヶ辻と呼ばれたか。  
(ア) 江戸時代、元禄(1688～1703)の頃である。  
(イ) 江戸時代中期以降、文化文政(1804～1829)の頃である。  
(ウ) 江戸時代末期、嘉永安政から明治初期(1848～1875)の頃である。
- (5) 江戸時代より現代まで千両ヶ辻には( )を中心に織物問屋並びに両替商(銀行)が営んでいる。  
(ア)織屋〔織物メーカー〕 (イ)糸染屋 (ウ)生糸問屋 (エ)金糸屋〔金銀糸を扱う糸屋〕
- (6) 千両ヶ辻にある町家は京都の代表的な町家と同じく、うなぎの寝床と云われる間口が狭く奥行きが深い家が多い。この地域の町家の格子はどの様な種類が多いか。  
(ア)糸屋格子 (イ)茶屋格子 (ウ)米屋格子 (エ)炭屋格子

### ◇平安時代について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

千両ヶ辻東、一条戻り橋のもとに位置し平安時代中期創建の( 7 )は我が国の陰陽道の祖( 8 )公を御祭神としてお祀りし広く世の中の崇敬を集め、星型の五芒星の紋を神紋とされている。秀吉時代この地で自刃した千宗易(利休)邸があった。

- (7) (ア) 玄武神社 (イ) 建勲神社 (ウ) 水火天満宮 (エ) 晴明神社  
(8) (ア) 惟喬親王 (イ) 安倍晴明 (ウ) 蘆屋道満 (エ) 菅原道真

(9) 藤原氏隆盛の時代、千両ヶ辻の南方向の一条通付近には一条天皇の里内裏で中宮彰子に仕えた紫式部が関連する一条院があった。この地は世界最古の長編小説( 9 )「くるま争い」ゆかりの地でもある。

- (ア) 紫式部日記 (イ) 枕草子 (ウ) 源氏物語 (エ) 和泉式部日記

千両ヶ辻の東北(今出川通堀川東入ル飛鳥井町・公家・飛鳥井家の跡地)に保元の乱の敗者となった崇徳上皇を祭神とする( 10 )がある。飛鳥井家は伝統の蹴鞠の宗家であったため蹴鞠の神である精大明神が祀られスポーツ関係( 11 )の守護神とされている。

- (10) (ア) 晴明神社 (イ) 白峰神宮 (ウ) 建勲神社 (エ) 上御霊神社  
(11) (ア) 剣道 (イ) 弓道 (ウ) 柔術 (エ) サッカー等、球技全般

千両ヶ辻西北、糸屋八町域内の桜井町（知恵光院通り今出川上ル西側）にお宮がある。平安時代末期この地に（ 12 ）の屋敷があったとも伝承されている。源九朗判官義経（牛若丸）が、奥州藤原氏を頼り平泉に赴く際に、道中の安全をこの地の（ 13 ）に祈願して出立したと云われている。この故事により、（ 13 ）は現在も特に旅立ち旅行の安全の信仰を集めている。

- (12) (ア) 藤原秀衡 (イ) 金売吉次 (ウ) 武蔵坊弁慶 (エ) 桜井基佐  
(13) (ア) 三宅八幡宮の末社 (イ) 首途八幡宮 (ウ) 石清水八幡宮の末社 (エ) 還来神社

◇ 西陣の起源について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

千両ヶ辻東北約 1km の地点に室町幕府足利将軍家の邸宅（ 14 ）が存在した。応仁元年（1467）京の都を焦土と化した応仁の乱が起こり細川勝元を頭とする東軍と（ 15 ）を頭とする西軍が入り乱れて戦い両陣営とも地方から続々と兵力を上洛させた。西軍の陣地は現在の堀川通五辻西入ル（ 15 ）邸跡辺りで「西陣」と云う地名の起源である。西軍の頭の名が町名として名残りを留めている。（ 16 ）という名称は、西軍の本陣跡が由来である。

- (14) (ア) 桜御所 (イ) 持明院御所 (ウ) 花の御所 (エ) 旧二条城  
(15) (ア) 山名宗全 (イ) 畠山義就 (ウ) 六角高頼 (エ) 斯波義廉  
(16) (ア) 博多織 (イ) 桐生織 (ウ) 西陣織 (エ) 丹後ちりめん

◇ 安土桃山時代について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

千両ヶ辻と呼ばれ始められた時代の約 200 余年前、この地域の近くに（ 17 ）が存在した。関白太政大臣の位についた（ 18 ）が造営し、五層の天守を持った城は「聚楽城」とも呼ばれ天正 15 年(1587)に完成した。天正 16 年(1588)秀吉は甥の（ 19 ）を関白に就任させ、その城を譲ったが、謀反の廉で文禄 4 年(1595)（ 19 ）を自刃に追いやると（ 17 ）もことごとく破却した。平成 24 年画期的な発掘調査〔上長者町通り智恵光院南東角〕により本丸南堀の石垣遺構が発見された。結局巨大な建造物は僅か 8 年足らずの存在であった。

- (17) (ア) 二条城 (イ) 聚楽第 (ウ) 花の御所 (エ) 公家屋敷  
(18) (ア) 豊臣秀吉 (イ) 豊臣秀長 (ウ) 徳川家康 (エ) 足利義昭  
(19) (ア) 豊臣秀頼 (イ) 小早川秀秋 (ウ) 豊臣秀勝 (エ) 豊臣秀次

天正 18 年（1590）頃 京都にとって後世に残る大画期となった時期であった。豊臣秀吉によって寺町〔特に寺町通りや千両ヶ辻の北の方に位置する東西の通りである（ 20 ）〕の建設、町家の移転、武家町建設が行われ、更に南北通りの新設等の区画整理、（ 21 ）なども加わり聚楽第城下町として基本的な都市改造が完成した。

- (20) (ア) 七本松通り（今出川通りより南） (イ) 相合凵子通り（下の森通り）  
(ウ) 寺之内通り (エ) 出水通り（千本通りより西）

- (21) (ア) 御土居の完成 (イ) 高瀬川の開削 (ウ) 公認の茶店、上七軒の確立

千両ヶ辻近くにおいても南北通りの新設により色紙型から短冊型の区画に変化した。新設された通りを二つ選びなさい。（ 22 ）（ 23 ）

- (ア) 大宮通 (イ) 黒門通 (ウ) 猪熊通 (エ) 葎屋町通 (オ) 堀川通  
(カ) 油小路通 (キ) 小川通 (ク) 西洞院通 (ケ) 新町通 (コ) 衣棚通

千両ヶ辻近くに位置した聚楽第の堀を囲む一帯には諸侯諸大名等の屋敷が立ち並び現在でも多くの町名に名残りを留め、名前の一部に関係事項を町名としている。一条通大宮東入ルの如水町には（ 24 ）、飛騨殿町には（ 25 ）、栄町(旧阿波殿町)には修理大夫阿波守・蜂須賀正勝の屋敷があったと微かに伝承されている。

- (24) (ア) 築城の名手・藤堂高虎 (イ) 軍師・黒田官兵衛・孝高  
(ウ) 五奉行・浅野長政 (エ) 京都所司代・前田玄以  
(25) (ア) 大和大納言・豊臣秀長 (イ) 信濃守・鍋島勝茂

(ウ) 利休七哲(飛騨守)・蒲生氏郷 (エ) 山城守・直江兼次

(26) 聚楽第の本丸の中心は千両ヶ辻から見てどの方角に存在したか、答えなさい。

(ア) 南方向 (イ) 南西方向 (ウ) 西方向 (エ) 南東方向

◇ 幕末時代、明治時代、現代について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

元治元年(1864)千両ヶ辻より直線で約1km東側にある京都御所の中立売御門付近で会津・薩摩・幕府連合軍と長州軍とが最初に激突したと云われ、(27)が勃発した。これに抛る大火は(28)と呼ばれていた。千両ヶ辻は被害を免れた模様。

(27) (ア) 桜田門外の変 (イ) 蛤御門の変(禁門の変) (ウ) 戊辰戦争 (エ) 西南の役

(28) (ア) どんぐり焼け (イ) 西陣焼け (ウ) どんどん焼け(鉄砲焼け) (エ) 油小路焼け

幕末期、会津藩士・砲術家として(29)は京都守護職に任じられた藩主松平容保と共に上洛、金戒光明寺(黒谷)を本陣とした。藩政の傍ら千両ヶ辻の東南約1kmの長徳寺(西洞院上長者町)に会津藩の洋学所を開き教育活動に尽力し教育者、経済人、文人、政治家等を育て世に送った。

(27)が勃発、負傷しながらも禁裏守護のため幕府連合軍として長州軍と戦った。

後年禁裏御所の西方にある現在の(30)の敷地内に京都守護職上屋敷が完成した。

(29) (ア) 西郷頼母 (イ) 川崎尚之助 (ウ) 山本覚馬 (エ) 山川健次郎

(30) (ア) 府庁 (イ) 上京中学校 (ウ) 上京税務署 (エ) 京都ブライトンホテル

千両ヶ辻の南西1kmの地点に会津藩士の重臣を兄に持つ与頭(くみがしら)佐々木只三郎以下6名で組織する京都守護職配下の京都見廻組いわゆる(31)の極秘精鋭部隊が投宿先(隠れ家)とする松林寺(新出水通智恵光院西入ル)がある。慶応3年(1867)11月15日隊は四条通河原町上ルの近江屋に潜んでいた(32)(33)の捕縛を断念し斬殺したと云う。即ち隊士はラストサムライであった。(京都見廻組実行説に依拠)

(31) (ア) 新撰組 (イ) 公儀隠密 (ウ) 幕府の軍事組織 (エ) 幕府の警察組織

(32)(33) (ア) 武市半平太 (イ) 坂本龍馬 (ウ) 岡田以蔵 (エ) 板垣退助

(オ) 中岡慎太郎 (カ) 岩崎弥太郎 (キ) 後藤象二郎

京都の警護を担い鳥羽伏見の戦い以降「朝敵」呼ばわりされ、会津戦争では故郷の地が蹂躪された悲劇的で忠義を貫いた(34)。奇しくも新政府軍の薩長は関ヶ原の戦いの敗者の西軍であった。時代は下り平成24年3月20日近現代の歴史や種々の面で深い縁の(35)と京都市は『相互交流宣言』を調印した。

(34) (ア) 桑名藩 (イ) 庄内藩 (ウ) 長岡藩 (エ) 会津藩

(35) (ア) 二本松市 (イ) 福島市 (ウ) 会津若松市 (エ) 郡山市

新政府設立後京都では東京への遷都がもたらした疲弊状況を打破するために、工業を中心的に勧奨するために中央政府の殖産興業政策の中、京都府には先駆的な勸業場が設けられ明治3年外国の情報に明るい(36)を京都府顧問に招聘され、妹の(37)の協力も得て新しい近代京都の礎を作るため二代目知事榎村正直のブレーンとして近代的な産業振興、教育、病院と医学校の改革を劇的に成し遂げた。西陣織の発展に寄与した(38)という、理化学工業研究所を府は設立した。明治5年～14年に掛けて西陣の技術者の〔佐倉常七・井上伊兵衛・吉田忠七(新織法習得)〕〔伊達彌助・早川忠七(織物研究)、中村喜一郎(染法研究)〕〔近藤徳太郎(織物)・今西直次郎(製糸撚糸)・稲畑勝太郎(染色)〕、〔三田忠兵衛・高松長四郎(染色)〕は、新技術習得のため(39)へ留学及び視察に向けて派遣された。習得した新技術は後年西陣及び国内繊維産業発展に大いに寄与した。

(36) (ア) 勝海舟 (イ) ジョン万次郎 (ウ) 横井小楠 (エ) 山本覚馬

(37) (ア) 津田梅子 (イ) 下田歌子 (ウ) 大山捨松 (エ) 山本八重(新島八重)

(38) (ア) 理学校 (イ) 舎密局(せいみ局) (ウ) 開成所 (エ) 勸業館

(39) (ア) 米国 (イ) 西欧諸国 (ウ) 東欧諸国 (エ) 中国

第二の故郷となる京都再興に心血を注ぐ山本覚馬の教育政策においては明治2年に提言した思想がそっくり盛り込まれたと云われている(40)が、64校が設置された。千両ヶ辻にある西陣中央小学校(旧桃蔭校)は、第九(40)であった。

(40) (ア) 番組小学校 (イ) 尋常小学校 (ウ) 寺子屋小学校 (エ) 市立小学校

◇大学について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

千両ヶ辻近く東に位置し1875年創立の同志社大学がある。創立者(41)の協力者として、山本覚馬は現在の同大学の今出川校地の敷地を譲り、同志社英学校の創立に大いに協力した。創立に協力した山本覚馬の妹で女子塾・同志社女学校の開設、教育に尽力した夫人の(42)は、(43)藩の武家に育ち戊辰戦争(1868)では城に籠城、断髪・男装して幕末のジャンヌダルクあるいは会津の巴御前として自らスナイパーとしてスペンサー銃を持って奮戦した。

千両ヶ辻より東西半径2kmに位置する衣笠校地と旧広小路校地を有していた、1900年創立の立命館大学は創立者中川小十郎、学祖は大正昭和の最後の元老であった(44)である。前身の京都法制学校設立に際し設立賛助員に教育活動に尽力した山本覚馬のかつての門人 浜岡光哲(第3代目京都商工会議所会頭)、田中源太郎(実業家)、中村栄助(実業家)、雨森菊太郎(政治家)等が名前を連ねていた。(41) (ア) 徳富蘇峰 (イ) 新島襄 (ウ) 榎村正直

(42) (ア) 津田梅子 (イ) 下田歌子 (ウ) 新島八重(山本八重) (エ) 大山捨松

(43) (ア) 桑名 (イ) 長州 (ウ) 土佐 (エ) 会津

(44) (ア) 松方正義 (イ) 西園寺公望 (ウ) 伊藤博文

◇西陣織に関する問題

(45) 西陣織産地では現在帯地・着尺・ネクタイ・金襴・ショールマフラー・室内装飾織物が生産されている。主に生産されている帯地の種類の中で最も多く生産されているものを一つ答えなさい。(ア) 袋帯 (イ) 九寸なごや帯 (ウ) 袋なごや帯 (エ) 丸帯

◇千両ヶ辻境界について

(46) (47) 千両ヶ辻近く半径約1.0km以内に老舗の菓子司が歴史的に多く存在する。下記の中から域外のを二つ選びなさい。

(ア) 塩芳軒 (イ) 亀末廣 (ウ) 笹屋伊織 (エ) 末富 (オ) 鶴屋吉信

(カ) 俵屋吉富 (キ) 亀屋則克 (ク) 千本玉寿軒 (ケ) 本家玉寿軒

◇芸術・文化について最も適当なものを(ア)～(オ)から選びなさい。

千両ヶ辻から1km 東北及び東に位置する茶道の千家があり、武者小路通小川東入ルには武者小路千家(茶室官休庵)がある。小川通寺之内上ルには表千家(茶室不審庵)、その北側には裏千家があり茶室(48)がある。現在の裏千家 家元は十六代千宗室(坐忘斎)である。

(48) (ア) 燕庵 (イ) 如庵 (ウ) 待庵 (エ) 密庵 (オ) 今日庵

表千家、裏千家の西向いに日蓮宗 叡昌山(49)があり、本阿弥光悦作庭よる国の名勝「三巴の庭」があり、(50)の筆による縦約10m、横約6mの「仏涅槃図」(重文)等多くの重要文化財がある。(49) (ア) 本隆寺 (イ) 本満寺 (ウ) 立本寺 (エ) 本法寺

(50) (ア) 長谷川等伯 (イ) 狩野永徳 (ウ) 狩野探幽 (エ) 海北友松